

令和6年度 第1回豊島区総合教育会議 次第

日 時： 令和6年6月12日（水） 午後2時00分
会 場： 豊島区役所本庁舎8F 教育委員会室

1. 開 会

2. 議 題

教育大綱素案について

3. 閉 会

【配布資料】

資料1 豊島区教育大綱 素案（案）

資料2 教育大綱骨子（案）

資料3 大綱骨子（案）の修正内容

資料4 ご意見まとめ

資料5 教育大綱策定スケジュール

参考資料1 豊島区教育施策に関する意識調査結果（抜粋）

豊島区教育大綱素案(案)

豊島区
令和6年〇月



目指す都市像

未来を切り拓く 笑顔で元気な
“としまっ子” が育つまち

目指す教育像

学校、家庭、地域、関係機関等が連携して、すべての
子どもの学びを支え、「元気でたくましい子ども」
「体験を通じて心の豊かな子ども」「地域を愛する
子ども」を育てます。

方針

「元気でたくましい子ども」「体験を通じて心の豊かな子ども」「地域を愛する子ども」を育てるため、次の4つの方針に基づき具体的な取組を推進していきます。

1

幼児期からの切れ目のない教育を推進し、未来を担う確かな学力と健康で活力に満ちた子どもの育成

2

多様性を認め、誰もが自己肯定感や自己有用感を感じられる教育の推進

3

地域の魅力や本物の芸術・文化に触れる体験を通じ、地域を愛する心の豊かな子どもを育成

4

子どもと教員を支え、学びと成長を実感できる、新しい時代に適応した学校づくりを推進

方針

「元気でたくましい子ども」「体験を通じて心の豊かな子ども」「地域を愛する子ども」を育てるため、次の4つの方針に基づき具体的な取組を推進していきます。

No.	方針	具体的な取組
1	幼児期からの切れ目のない教育を推進し、未来を担う確かな学力と健康で活力に満ちた子どもの育成	①生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期における就学前教育を充実させます。
		②デジタル機器を最大限に活用した先進的な教育を推進し、子どもたちの学習意欲と知識・能力を高めていきます。
		③自然やスポーツなど多様な体験の場を創設し、生涯を通じて健康でたくましく生きていくための基盤をつくります。
2	多様性を認め、誰もが自己肯定感や自己有用感を感じられる教育の推進	①子どもたちの声に耳を傾け、しっかりと受け止め、子どもの学ぶ権利を保障します。
		②障害の有無や国籍等にかかわらず、個々の人権を大切にし、一人ひとりの子どもに寄り添った教育を推進します。
		③いじめや不登校、困難な家庭環境などといった状況に置かれている子どもを全力でサポートし、誰一人として取り残すことなく、きめ細かい支援を実施します。
3	地域の魅力や本物の芸術・文化に触れる体験を通じ、地域を愛する心の豊かな子どもを育成	①企業や大学など、地域ネットワークを活用した、多様で特色のある教育の場を創出します。
		②国際文化都市を強みとした多文化教育を推進し、共生社会の担い手となるグローバルな人材を育成します。
		③芸術鑑賞や地域の方々との触れ合いを通して、豊かな感性と社会性の育成を強化します。
		④地域の歴史や文化について理解を深め、地域を育む心や、地域文化の伝承・発展の担い手を育成します。
4	子どもと教員を支え、学びと成長を実感できる、新しい時代に適応した学校づくりを推進	①学校・家庭・地域がつながり、地域全体で子どもを見守り・育てる教育活動を展開します。
		②計画的な学校改築・学校改修を推進し、学校間の学習環境の格差を是正します。
		③学校図書館の学習情報センター化と学校図書館司書の充実を図り、子どもたちが主体的に学習できる環境を整備します。
		④教員が心のゆとりとやりがいを持って生き生きと働ける環境を創り、教育活動の質を向上させます。

幼児期からの切れ目のない教育を推進し、未来を担う確かな学力と健康で活力に満ちた子どもの育成

具体的な取組

1－①

生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期における就学前教育を充実させます。

○幼児期における教育は、子どもの心身の発達と健やかな成長を促すうえで、重要な意義を持っています。

○小学校入学後に“学習に集中できない”“教員の話が聞けずに授業が成立しない”など、学級がうまく機能しない、いわゆる「小1プロブレム」が発生しています。

○地域人材や関係機関と連携を図りながら、乳幼児期の発達段階に応じたプログラムやサービスを提供し、子どもたちの心身の発達や人格形成の基礎を培っていきます。

○施設の種別や公立私立の別を問わず、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、子ども同士の交流や職員の合同研修など、保育園・幼稚園・小学校の交流を深めていきます。



幼児期からの切れ目のない教育を推進し、未来を担う確かな学力と健康で活力に満ちた子どもの育成

具体的な取組

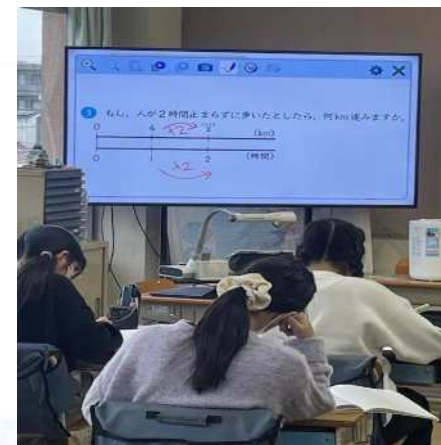
1－②

デジタル機器を最大限に活用した先進的な教育を推進し、子どもたちの学習意欲と知識・能力を高めていきます。

○目まぐるしく変化する社会情勢に柔軟に対応し、すべての子どもが自ら力で将来を生き抜いていくためには、様々な知識や教養を身につけるとともに、主体性、創造力、課題発見、解決力、論理的思考、表現力といった能力を高めていく必要があります。

○デジタル教科書や一人一台のタブレットパソコンなどのICT機器を駆使し、一斉学習、個別学習、協働学習、遠隔授業、動画視聴などの様々な学習方法を取り入れることで、子どもたちの学ぶ意欲と能力を最大限伸ばしていきます。

○デジタル機器を活用して、子どもたち一人ひとりが自ら学習計画を立てたり、目標に向かって学習することにより、個人の成長に合わせた学びの習得につなげていきます。



デジタル教科書を使った授業の様子

幼児期からの切れ目のない教育を推進し、未来を担う確かな学力と健康で活力に満ちた子どもの育成

具体的な取組

1－③

自然やスポーツなど多様な体験の場を創設し、生涯を通じて健康でたくましく生きていくための基盤をつります。

○少子高齢化社会が進展する中、生涯にわたり健康を維持していくためには、子どもたちにバランスの良い食生活や運動習慣など、心と体の健康づくりを定着させていく必要があります。

○体育の授業改善、タブレットパソコンの活用などを通して、運動の楽しさや体の動かし方を学ばせるとともに、自然体験、スキー教室などの宿泊行事を継続的に実施し、スポーツに親しむ機会を創出します。

○子どもたちの健やかな成長を後押しする定期健康診断、歯科健診の実施や、歯磨き指導、歯科保健講話を通して、子どもたち自らが健康維持・増進に対する必要性を感じ、健康的な日常生活を送る意欲を高めます。

写真・データ等

多様性を認め、誰もが自己肯定感や自己有用感を感じられる教育の推進

具体的な取組

2－①

子どもの声に耳を傾け、しっかりと受け止め、子どもの学ぶ権利を保障します。

○子どもが安心して学び、将来への希望を持って自分らしく伸び、健やかに成長するためには、子どもが自由に意見を言え、その意見が尊重されていると実感できる体験が必要です。

○学校や地域など、あらゆる活動の場において、子どもが参画し、意見表明や活躍できる機会を創出します。

○子どもの個々の意見や悩みについて、学校や教員だけでなく、様々な支援機関、専門職と連携してしっかりと受け止め、子どもの学びを止める事がないよう、個々に合った支援と学習の場を確保します。

○社会性や豊かな感性をはぐくむ教育を推進し、自らの個性や能力を伸ばそうとする意欲を持った自己肯定感の高い子どもを育てます。

写真・グラフ等

多様性を認め、誰もが自己肯定感や自己有用感を感じられる教育の推進

具体的な取組

2-②

障害の有無や国籍等にかかわらず、個々の人権を大切にし、一人ひとりの子どもに寄り添った教育を推進します。

○障害の有無や国籍等にかかわらず、すべての子どもたちが自らの能力や可能性を最大限に伸ばし、自己肯定感をもって成長していくためには、個々のニーズに合った支援を受けることのできる教育環境を確保することが重要です。

○特別な支援を必要とする子どもが安心して学校に通い、個別最適な教育を受けることができるよう、教育センターを拠点として、充実した支援体制を整えます。

○日頃から「違いは個性」であることを示し、自分も人も大切にできる心情を養います。また、人権教育や道徳教育を充実させ、様々な体験や人との関わりの中で、その多様性に気づき、他者を認め合う社会性を育み、心のバリアフリーを実現します。

写真・グラフ等

多様性を認め、誰もが自己肯定感や自己有用感を感じられる教育の推進

具体的な取組

2－③

いじめや不登校、困難な家庭環境など困難な状況に置かれている子どもを全力でサポートし、誰一人として取り残すことなく、きめ細かい支援を実施します。

○一人ひとりの子どものおかれている状況は様々です。そのような現状の中、誰一人取り残さず、子どもたちが将来に希望を持って健やかに成長していくためには、地域全体で子どもたちを守り、支えてを支援していくことが大切です。

○一人ひとりのニーズを的確に把握し、困難な課題を抱える子どもに対する支援を、学校だけでなく、まち全体で行い、子どもたちが抱える問題の未然防止、早期発見・早期対応に繋がります。

○様々な状況の子どもに寄り添い、関係機関や専門家等との連携により、きめ細かなサポートを行うとともに、学校以外でも友達との交流や学習が行える環境を用意します。

写真・グラフ等

社会の魅力や本物の芸術・文化に触れる体験を通じ、地域を愛する心の豊かな子どもを育成

具体的な取組

3-①

企業や大学など、地域ネットワークを活用した、多様で特色のある教育の場を創出します。

○行政だけでは解決できない地域・社会課題をオープンにし、公民一体で地域課題を図る目的で「チームとしま」が結成されています。教育の分野においても、民間活力を最大限活用し教育課題の解決にあたります。

○区内大学と連携し、子どもたちが大学の充実した施設を活用しながら学ぶ機会や留学生と交流してコミュニケーションを学ぶ機会を創出します。

○区内にある企業等と積極的に連携し、将来の豊島区を担う人材を育成するため、人と人との触れ合いの中で学ぶキャリア教育を充実させます。

○企業や大学等と連携し、放課後子ども教室のプログラムの内容の充実を図ります。

○中学生の学習習慣の定着と学力向上のため、地域や大学と連携し、学習支援を行います。（としま地域未来塾）

写真・グラフ等

社会の魅力や本物の芸術・文化に触れる体験を通じ、地域を愛する心の豊かな子どもを育成

具体的な取組

3－②

国際文化都市を強みとした多文化教育を推進し、共生社会の担い手となるグローバルな人材を育成します。

○豊島区の人口の約1割が外国籍となっており、国籍も多様化しています。また、海外からも多くの方が豊島区を訪れています。豊かなコミュニティを形成していくためには、国籍、人種、文化などの違いを互いに認め合い、多文化共生を推進できる人材を育てていく必要があります。

○幼児期から英語に触れる機会を創出し、子どもたちの多文化への興味関心を高める教育を推進します。

○区内大学と連携し、小中学生が留学生等と交流する機会を積極的に設けて、コミュニケーションの楽しさや大切さを体験を通して学ぶ機会を創出します。

○社会人として必要な力の育成につながる学校教育を展開し、豊島区の将来の担い手の育成に努めます。

写真・グラフ等

社会の魅力や本物の芸術・文化に触れる体験を通じ、地域を愛する心の豊かな子どもを育成

具体的な取組

3－③

芸術鑑賞や地域の方々との触れ合いを通して、豊かな感性と社会性の育成を強化します。

- 芸術鑑賞は、豊かな人間性を育み、人間らしく生きるための糧となり、子どもたちが多様な価値観を身につける貴重な学び場となります。
- 東京芸術劇場、東京建物ブリリアホール等の地域の施設を活用し、音楽鑑賞教室や芸術鑑賞教室等、児童生徒が本物の芸術・文化に触れる機会を創出し、創造力や表現力等の豊かな感性を育成します。
- 地域人材を積極的に学校の授業における指導者として招き、直接触れ合う中で、子どもたちに社会性を身につける機会を創出します。



南池袋小学校
地域の方々とすすきみみずく作成

社会の魅力や本物の芸術・文化に触れる体験を通じ、地域を愛する心の豊かな子どもを育成

具体的な取組

3－④

地域の歴史や文化について理解を深め、地域を育む心や、地域文化の伝承・発展の担い手を育成します。

○豊島区内には、ソメイヨシノ、雑司が谷すすきみみずく、トキワ荘、長崎獅子舞など、地域に根づいた歴史・文化が数多く存在します。また、東京手描友禅などの時代を超えて受け継がれてきた伝統工芸があります。一方で、人口の流動性が高いことや後継者不足などから、その継承が課題となっています。

○各教科等の授業において、地域資源や地域人材を積極的に活用し、子どもたちが地域への理解を深め、地域を大切にする心を育みます。

○熟練技術者による技術の実演やものづくり現場へ訪問などを通して、子どもたちのものづくりへの興味・関心を高め、地域の伝統工芸やものづくりを担う人材を育てます。



長崎獅子舞

子どもと教員を支え、学びと成長を実感できる、新しい時代に適応した学校づくりを推進

具体的な取組

4－①

学校・家庭・地域がつながり、地域全体で子どもを見守り・育てる教育活動を展開します。

- 子どもたちが安全・安心に楽しく学校生活を送るためには、学校のみならず保護者や地域と連携し教育活動を展開していく必要があります。
- コミュニティスクールの活動を各校で展開し、地域ぐるみで子どもの成長を見守っていきます。
- 子どもたちへのきめ細やかなサポートや教員の負担を軽減するため、学校運営に携わる非常勤・臨時職員・ボランティア等を配置を強化します。
- 通学時の見守り、防犯カメラ設置、学校の入退室管理システム及び学校非常通報装置等の対策を講じ、児童の安全・安心の確保に万全を期します。
- 子どもスキップの運営に携わる人員を十分に確保するとともに、設備面の充実を図り、放課後の子どもたちの居場所を確保します。
- 区立中学校での部活動の機会を確保するため、部活動指導員の配置や地域連携・地域移行を推進します。

写真・グラフ等

子どもと教員を支え、学びと成長を実感できる、新しい時代に適応した学校づくりを推進

具体的な取組

4－②

計画的な学校改築・学校改修を推進し、学校間の学習環境の格差を是正します。

- 「小・中学校改築計画」や「学校施設等長寿命化計画」に基づく学校改築は、令和6年度時点で3分の1の完了となっています。
- 未改築校については、予防保全の考え方に基づいた大規模改修工事を実施していますが、改築校と比較すると、設備面において学習環境に格差があります。
- 新たに学校改築計画を策定することにより、計画的な学校改築を推進し、学習環境の格差是正を図ります。
- 当面の改築が困難な学校については、長寿命化改修工事も検討し、改築校との学習環境の格差縮小を図ります。
- 子どもたちへの一人一台のタブレットパソコンの整備により、主体的な学びの環境は向上しました。
- タブレットPCの定期的な更新に合わせてネットワーク機器や大型提示装置等の基盤整備を進め、学習環境の質の向上を図ります。



令和4年度に竣工した
池袋第一小学校

子どもと教員を支え、学びと成長を実感できる、新しい時代に適応した学校づくりを推進

具体的な取組

4－③

学校図書館の学習情報センター化と学校図書館司書の充実を図り、子どもたちが主体的に学習できる環境を整備します。

○学校改築に合わせてICT環境や学習スペースなどの機能を備えた学習情報センターを整備していますが、未改築校では学習情報センター機能を有していない学校が多数を占めています。

○学校改築のみならず大規模改修の機会を捉えて、学校図書館の学習情報センター化に取り組み、子どもたちが主体的に学習できる環境を整備します。

○子どもたちの読書活動への関心や学習意欲を高めるため、学校図書館司書の常設や地域図書館との連携を強化し、蔵書やレファレンスサービスの充実を図ります。

○子どもたちが調べる学習や対話型授業ができるよう、テーブルや椅子、大型展示装置といった備品類を利用者目線で配備し、効果的・効率的な学習空間を提供します。



富士見台小学校 学習情報センター

子どもと教員を支え、学びと成長を実感できる、新しい時代に適応した学校づくりを推進

具体的な取組

4－④

教員が心のゆとりとやりがいを持って生き生きと働ける環境を創り、教育活動の質を向上させます。

○子どもたちの学びを確保し、持続可能な学校運営を構築するためには、教員の長時間労働を是正し、働き方改革を継続的に進め、教員が心身ともに健康で生き生きと働ける環境を創ることが重要です。

○教員が子ども達と向き合う時間や、授業準備の時間を十分に確保することができるよう、スクールサポートスタッフなどの外部人材の参画、ICTの活用をこれまで以上に進め、教員が抱える様々な負担を軽減し、質の高い教育活動につなげます。

○教員の働き方改革の取り組みを保護者や地域、関係団体の方々にも知ってもらい、地域一丸となって働き方改革を進めます。

写真・グラフ等

未来を切り拓く 笑顔で元気な“としまっ子”が育つまち

「元気でたくましい子ども」「体験を通じて心の豊かな子どもを育てる」「地域を愛する子ども」

(1) 幼児期からの切れ目のない教育を推進し、未来を担う力を身につけた元気でたくましい子どもの育成

- 保・幼・小・中との交流、連携を通じた切れ目のない学びの支援と就学前教育を充実させる
- 生涯を通じて心豊かに健康で逞しく生きていくための基盤をつくる
- デジタル機器を活用した先進的な教育を推進する

(2) 多様性を認め、誰もが自己肯定感や自己有用感を感じられる教育の推進

- 子どもの声に耳を傾け、しっかりと受け止め、子どもの学ぶ意欲と権利を支える
- 個々の能力や個性を尊重し、多様性を認め合うことができる子どもを育てる
- 困難な課題を抱える子どもをチーム豊島区で支え、誰一人として取り残すことのない教育を行う

(3) 地域の魅力や本物の芸術や文化に触れる体験を通じ、地域を愛する心の豊かな子どもを育成

- 企業や大学など、地域ネットワークを活用した、多様で特色のある教育の場を創出する
- 国際交流都市を強みとした異文化教育の推進により、共生社会の担い手となるグローバルな力を育成する
- 様々な体験活動を通して、人間関係を築く力と社会性の育成を強化する
- 地域との関わりを大事にする教育環境づくりを支援する

(4) 安全・安心で、子どもたちの学習意欲を引き出す魅力ある学校づくり

- 子どもが不安や負担を感じることなく、安心して喜んで通える学校づくりを支える
- 計画的な学校改築・学校改修の推進と学習環境の格差を是正する
- 学校図書館の学習情報センター化の推進と学校図書館司書の充実により、子どもが主体的に学習できる環境を整備
- 教員の声にも耳を傾け、学校に対する支援を強化する
- 教員が生き生きと働ける環境を作り、教育活動の質を向上させる

「元気でたくましい子ども」「体験を通じて心の豊かな子ども」「地域を愛する子ども」

1. 幼児期からの切れ目のない教育を推進し、未来を担う確かな学力と健康で活力に満ちた子どもの育成

- ① 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期における就学前教育を充実させます。
- ② デジタル機器を最大限に活用した先進的な教育を推進し、子どもたちの学習意欲と知識・能力を高めていきます。
- ③ 自然やスポーツなど多様な体験の場を創設し、生涯を通じて健康でたくましく生きていくための基盤をつくります。

2. 多様性を認め、誰もが自己肯定感や自己有用感を感じられる教育の推進

- ① 子どもたちの声に耳を傾け、しっかりと受け止め、子どもの学ぶ権利を保障します。
- ② 障害の有無や国籍等にかかわらず、個々の人権を大切にし、一人ひとりの子どもに寄り添った教育を推進します。
- ③ いじめや不登校、困難な家庭環境などといった状況に置かれている子どもを全力でサポートし、誰一人として取り残すことなく、きめ細かい支援を実施します。

3. 地域の魅力や本物の芸術・文化に触れる体験を通じ、地域を愛する心の豊かな子どもを育成

- ① 企業や大学など、地域ネットワークを活用した、多様で特色のある教育の場を創出します。
- ② 国際文化都市を強みとした多文化教育を推進し、共生社会の担い手となるグローバルな人材を育成します。
- ③ 芸術鑑賞や地域の方々との触れ合いを通して、豊かな感性と社会性の育成を強化します。
- ④ 地域の歴史や文化について理解を深め、地域を育む心や、地域文化の伝承・発展の担い手を育成します。

4. 子どもと教員を支え、学びと成長を実感できる、新しい時代に適応した学校づくりを推進

- ① 学校・家庭・地域がつながり、地域全体で子どもを見守り・育てる教育活動を展開します。
- ② 計画的な学校改築・学校改修を推進し、学校間の学習環境の格差を是正します。
- ③ 学校図書館の学習情報センター化と学校図書館司書の充実を図り、子どもたちが主体的に学習できる環境を整備します。
- ④ 教員が心のゆとりとやりがいを持って生き生きと働ける環境を創り、教育活動の質を向上させます。

骨子案の修正内容について

変更前	変更後
(1) 幼児期からの切れ目のない教育を推進し、未来を担う力を身につけた元気でたくましい子どもの育成 ○ 保・幼・小・中との交流、連携を通した切れ目のない学びの支援と就学前教育を充実させる ○ 生涯を通じて心豊かに健康で逞しく生きていくための基盤をつくる ○ デジタル機器を活用した先進的な教育を推進する	1.幼児期からの切れ目のない教育を推進し、未来を担う 確かな学力と健康で活気に満ちた 子どもの育成 ① 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期における 就学前教育を充実させます。 ②デジタル機器を最大限に活用した先進的な教育を推進し、 子どもたちの学習意欲と知識・能力を高めていきます。 ③ 自然やスポーツなど多様な体験の場を創設し 、生涯を通じて健康で たくましく 生きていくための基盤をつくります。
(2) 多様性を認め、誰もが自己肯定感や自己有用感を感じられる教育の推進 ○ 子どもの声に耳を傾け、しっかりと受け止め、子どもの学ぶ意欲と権利を支える ○ 個々の能力や個性を尊重し、多様性を認め合うことができる子どもを育てる ○ 困難な課題を抱える子どもをチーム豊島区で支え、誰一人として取り残すことのない教育を行う	2.多様性を認め、誰もが自己肯定感や自己有用感を感じられる教育の推進 ①子どもの声に耳を傾け、しっかりと受け止め、子どもの学ぶ権利を 保障します。 ② 障害の有無や国籍等にかかわらず、個々の人権を大切にし、一人ひとりの子供に寄り添った教育を推進します。 ③ いじめや不登校、困難な家庭環境などといった状況に置かれている子どもを全力でサポートし、誰一人として取り残すことなく、きめ細かい支援を実施します。
(3)地域の魅力や本物の芸術や文化に触れる体験を通じ、地域を愛する心の豊かな子どもを育成 ○ 企業や大学など、地域ネットワークを活用した、多様で特色のある教育の場を創出する ○ 国際交流都市を強みとした異文化教育の推進により、共生社会の担い手となるグローバル能力を育成する ○ 様々な体験活動を通して、人間関係を築く力と社会性の育成を強化する ○ 地域との関わりを大事にする教育環境づくりを支援する	3.地域の魅力や本物の芸術・文化に触れる体験を通じ、地域を愛する心の豊かな子どもを育成 ①企業や大学など、地域ネットワークを活用した、多様で特色のある教育の場を創出します。 ②国際 文化 都市を強みとした 多文化教育を推進し 、共生社会の担い手となるグローバルな 人材 を育成します。 ③ 芸術鑑賞や地域の方々との触れ合い を通して、 豊かな感性と 社会性の育成を強化します。 ④ 地域の歴史や文化について理解を深め、地域を育む心や、地域文化の伝承・発展の担い手を育成します。
(4) 安全・安心で、子どもたちの学習意欲を引き出す魅力ある学校づくり ○ 子どもが不安や負担を感じることなく、安心して喜んで通える学校づくりを支える ○ 計画的な学校改築・学校改修の推進と学習環境の格差を是正する ○ 学校図書館の学習情報センター化の推進と学校図書館司書の充実により、子どもが主体的に学習できる環境を整備 ○ 教員の声にも耳を傾け、学校に対する支援を強化する ○ 教員が生き生きと働ける環境を作り、教育活動の質を向上させる	4. 子どもと教員を支え、学びと成長を実感できる、新しい時代に適応した学校づくりを推進 ① 学校・家庭・地域がつながり、地域全体で子供を見守り・育てる教育活動を展開します。 ②計画的な学校改築・学校改修の推進 し、学校間 の学習環境の格差を是正します。 ③学校図書館の学習情報センター化と学校図書館司書の充実を 図り 、子どもが主体的に学習できる環境を整備します。 ④教員が 心のゆとりとやりがいを持って 生き生きと働ける環境を創り、教育活動の質を向上させます。

文書比較及び変更内容

文章比較		変更内容
旧	(1) 幼児期からの切れ目のない教育を推進し、未来を担う力を身につけた元気でたくましい子どもの育成	・教育委員より、「たくましい」という表現について、「知育」の部分にも「たくましい」という表現を用いるのは違和感のある方がいるかもしれないとの意見を踏まえ、「たくましい」の表現を削除。 新教育ビジョンの基本方針－「知」「徳」「体」の教育内容の充実－との整合性を図り、(1)部分では「知」「体」に焦点をあて、表現を「確かな学力」「知」、「健康で活気に満ちた」「体」に変更した。
新	1.幼児期からの切れ目のない教育を推進し、未来を担う 確かな学力と健康で活気に満ちた 子どもの育成	
旧	○ 保・幼・小・中との交流、連携を通した切れ目のない学びの支援と就学前教育を充実させる	・教育委員の意見より、保幼小中の切れ目のない学びを支援することと、就学前教育の充実を一つの項目にまとめることが適切であるかとの指摘があり、「保・幼・小・中との交流、連携を通した切れ目のない学びの支援」部分を削除し、就学前教育の充実を強調する形にした。
新	① 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期における 就学前教育を充実させます。	
旧	○ 生涯を通じて心豊かに健康で 逞しく 生きていくための基盤をつくる	・教育委員の意見より、ここでの「逞しい」という表現は「体育」にあたる部分になることを鑑み、「自然やスポーツなど多様な体験の場を創設し」の文言を追加し、「体育」の表現を強くした。また、漢字の「逞しく」をひらがなに変更し、読みやすくした。 ・「「心豊かに」」の部分は「徳育」に当たる部分であるとの判断より、こちらの項目から削除を行った。 ・方針の記載に合わせて「体」を③に修正。
新	③ 自然やスポーツなど多様な体験の場を創設し 、生涯を通じて健康で たくましく 生きていくための基盤をつくります。	
旧	○ デジタル機器を活用した先進的な教育を推進する	・教育委員の意見から、「デジタル機器の活用」は主に「知育」に関わることであり、「子供たちの学習意欲と知識・能力を高めていきます。」という文言の追加を行い、「知育」の表現を強くした。 ・方針の記載に合わせて「知」を②に修正
新	②デジタル機器を最大限に活用した先進的な教育を推進し、 子どもたちの学習意欲と知識・能力を高めていきます。	
旧	(2) 多様性を認め、誰もが自己肯定感や自己有用感を感じられる教育の推進	変更なし
新	2.多様性を認め、誰もが自己肯定感や自己有用感を感じられる教育の推進	
旧	○ 子どもの声に耳を傾け、しっかりと受け止め、子どもの学ぶ意欲と権利を支える	・子どもの学ぶ意欲と権利を「支える」という表現が正しい表現なのか判断が困難なため、「保障する」に表現を変更した。
新	①子どもの声に耳を傾け、しっかりと受け止め、子どもの学ぶ権利を 保障します。	

文章比較		変更内容
旧	○個々の能力や個性を尊重し、多様性を認め合うことができる子どもを育てる	・「障害の有無や国籍等」という表現により「多様性」を具体化。 ・教育委員の東京都及び東京都の各学校では人権教育を基本に据えて教育活動を推進しているというご意見を参考に、「能力や個性」の部分を「人権」に変更した。
新	②障害の有無や国籍等にかかわらず、個々の人権を大切にし、一人ひとりの子供に寄り添った教育を推進します。	
旧	○困難な課題を抱える子どもをチーム豊島区で支え、誰一人として取り残すことのない教育を行う	・教育委員の意見より、「生徒指導提要」に羅列的に挙げられている具体的な課題である、「いじめ」「不登校」を、また「生徒指導提要」によく出てくる「保護者との関係（で困難を抱える）」を「困難な家庭環境などといった状況」とし、文言の追加を行い、困難な状況を具体化した。
新	③いじめや不登校、困難な家庭環境などといった状況に置かれている子どもを全力でサポートし、誰一人として取り残すことなく、きめ細かい支援を実施します。	・「子どもを全力でサポートし」「きめ細かい支援を実施します」といった文言を追加することで、区として「支援」を行っていくという表現を強くした。
旧	（３）地域の魅力や本物の芸術や文化に触れる体験を通じ、地域を愛する心の豊かな子どもを育成	変更なし
新	3.地域の魅力や本物の芸術・文化に触れる体験を通じ、地域を愛する心の豊かな子どもを育成	
旧	○企業や大学など、地域ネットワークを活用した、多様で特色のある教育の場を創出する	変更なし
新	①企業や大学など、地域ネットワークを活用した、多様で特色のある教育の場を創出します。	
旧	○国際交流都市を強みとした異文化教育の推進により、共生社会の担い手となるグローバルな力を育成する	・「異文化」が異なる文化の相違点に着目した言葉であるのに対し、「多文化」はそれぞれの異なる文化が尊重され対等な立場で扱われる考え方であることから、共生社会の実現にはそれぞれの文化を尊重しあう視点が必要ということで異文化教育を多文化教育へ変更。
新	②国際交流都市を強みとした多文化教育を推進し、共生社会の担い手となるグローバルな人材を育成します。	・「グローバルな力」という表現を、東京都教育ビジョンで用いられている「グローバルに活躍する人材」をもとに「グローバルな人材」に変更。
旧	○様々な体験活動を通して、人間関係を築く力と社会性の育成を強化する	・人間関係を築く力と社会性を強化する「様々な体験活動」について、具体化するために「芸術鑑賞や地域の方々との触れ合い」に文言修正を行った。 また「人間関係を築く力」と「社会性の育成」は同じ内容であると判断し、「人間関係を築く力」の文言を削除し、「豊かな感性」に変更を行った。
新	③芸術鑑賞や地域の方々との触れ合いを通して、豊かな感性と社会性の育成を強化します。	
旧	○地域との関わりを大事にする教育環境づくりを支援する	・教育委員から「地域との関わりを大切にすることの目的である「地域を愛する」ことについて、「愛する」行為が漠然としており具体化した方がよいというご指摘を踏まえ、「地域の文化の伝承、発展の担い手を育成します」に変更を行った。
新	④地域の歴史や文化について理解を深め、地域を育む心や、地域文化の伝承・発展の担い手を育成します。	
旧	（４）安全・安心で、子どもたちの学習意欲を引き出す魅力ある学校づくり	・「子どもと教員を支え、」という表現に変更することで、「子ども」だけではなく、「教員」ひいては「学校」も支援していくという表現に変更した。 ・上記については当初「子どもと教員を全力で応援し、」という表現を用いていたが、教育委員の意見より、外側から単に励ましているようなニュアンスも感じ取れるとのご指摘をいただき、「支え」に変更を行った。
新	4.子どもと教員を支え、学びと育ちを実感できる、新しい時代に適応した学校づくりを推進	
旧	○子どもが不安や負担を感じることなく、安心して喜んで通える学校づくりを支える	・教育委員の意見より、子どもが「不安や負担」という表現が、「（２）③困難な課題を抱える子どもをチーム豊島区で支え、誰一人として取り残すことのない教育を推進します」と内容が重複しているのではないかとのご意見を受け、「地域全体で子どもを見守り・育てる」という表現にし、差別化を図った。
新	①学校・家庭・地域がつながり、地域全体で子どもを見守り・育てる教育活動を展開します。	
旧	○計画的な学校改築・学校改修の推進と学習環境の格差を是正する	・「格差是正」の前に「学校間」を入れ、格差是正の対象を分かりやすく修正。
新	②計画的な学校改築・学校改修の推進し、学校間の学習環境の格差を是正します。	
旧	○学校図書館の学習情報センター化の推進と学校図書館司書の充実により、子どもが主体的に学習できる環境を整備	・学習情報センター化の推進について、「推進」という表現を削除 ・学校図書館司書の充実「により」、という表現を「を図り」という表現に変更
新	③学校図書館の学習情報センター化と学校図書館司書の充実を図り、子どもが主体的に学習できる環境を整備します。	
旧	○教員の声にも耳を傾け、学校に対する支援を強化する ○教員が生き生きと働ける環境を作り、教育活動の質を向上させる	・（４）の項目がほかの項目に比べ多いことを踏まえ、「学校に対する支援」は結果的に「教員が生き生きと働ける環境づくり」にもつながるとの判断から、2つを統合し1つへまとめることとした。 ・「耳を傾け」の文言が2の①に被るため、「心のゆとりとやりがいを持って」に文言を修正。
新	④教員が心のゆとりとやりがいを持って生き生きと働ける環境を創り、教育活動の質を向上させます。	

方針1

幼児期からの切れ目のない教育を推進し、未来を担う確かな学力と健康で活力に満ちた子どもの育成

①生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期における就学前教育を充実させます。

- 5歳児が小学校へ行く機会を作ってほしい。（保育士・幼稚園教員）
- 0歳児から義務教育終了までの質の高い教育・保育の環境整備を進めてほしい。（学校運営連絡協議会・学校運営協議会委員）
- 保育者と保護者が定期的に会話、相談できる機会を充実させてほしい。（保育園・幼稚園保護者）

②デジタル機器を最大限に活用した先進的な教育を推進し、子どもたちの学習意欲と知識・能力を高めていきます。

- 中学校のICT環境を充実させてほしい。リモート授業、出欠確認など小学校に比べて活用されていないと感じる。（小・中学校保護者）
- もっとタブレットを活用した授業を受けたい（区立小学校児童・中学校生徒）
- 一人一台貸与されているタブレットを活用した授業が増えることを望む。（小・中学校保護者）
- 子どもたちには重いタブレットなので、もっと積極的にタブレットを活用する授業、またはPCの授業を取り入れて欲しいです。1人一台タブレットがあるのに中途半端な使い方では、とても勿体無いように感じています。（小学校中学校PTA会長連絡会）
- 効果的なデジタルツールを導入し、教育現場にもっと多くの支援を受けられるようになることを期待している。AIを活用したデジタル学習支援ツールも含め、適切なツールの選択と教育への有効な取り込みが重要と言えそうである。（区立小・中学校教員）
- 将来のために、英語、プログラミングに力を入れてほしい。運動や音楽も思いっきり挑戦し、楽しめる授業にしてほしい。（小・中学校保護者）
- 確かな基礎学力を持った上で、自分の個性や希望に合った、生き生きとした生活が出来る子どもに育ってほしい。（区立小・中学校教員）
- 習熟度に合わせた学習ができる環境を整えてほしい。（小・中学校保護者）
- 自ら考えて、意見を言い合える、自分から考える習慣を身につける勉強、授業をしてほしい。（小・中学校保護者）

③自然やスポーツなど多様な体験の場を創設し、生涯を通じて健康でたくましく生きていくための基盤をつくります。

- 幼児教育に季節行事（日本文化）を取り入れてもらいたい。日本の文化や外国の文化を知り、体験できるような機会があると良い。（保育園・幼稚園保護者）
- 公園や遊び場が少なく、自然に触れる機会が少ないため、山登りやキャンプなどの体験をさせたい。（保育園・幼稚園保護者）
- 幼稚園や保育園から小学校に上がってすぐの子どもたちが、座って何時間も座学するのは苦痛だと思う。日本の教育の、一貫で皆同じという方針を変えていく必要性を感じる。（区立小・中学校教員）

多様性を認め、誰もが自己肯定感や自己有用感を感じる教育の推進

①子どもたちの声に耳を傾け、しっかりと受け止め、子どもの学ぶ権利を保障します。

- ひとりの子どもに必ずやあるはずの安全で温かな家庭、全ての子どもに残念ながら備わっておらず人知れず苦しんでいる子どもがいるかもしれない。地域として行政と連携し、子どもと家庭を支えられるようになりたい。（学校運営連絡協議会・学校運営協議会委員）
- 放課後集中して、勉強に励む場所や、わいわいおしゃべりしながら遊べる誰でも仲良く接することができる場所が欲しい（区立小学校児童・中学校生徒）
- 子どもがいつでも相談できて、保護者の支援もしてくれる窓口（人）がいると良い。（区立小・中学校教員）
- 子どもが困っていることに対してきちんと対応してほしい。子ども達は自分の思いをうまく口にできないことも多く、遠慮したり我慢していることも多いように思う。もう少し親子共に相談できる場が欲しい。（小・中学校保護者）
- 夢を描き、夢に向かってチャレンジしていく子ども、自分の考えだけでなく、人の考えも大切にする子どもに育ってほしい。（区立小・中学校教員）
- 自分の強みや弱みを知り、周りの人とコミュニケーションができる子どもに育ってほしい。（区立小・中学校教員）

②障害の有無や国籍等にかかわらず、個々の人権を大切にし、一人ひとりの子どもに寄り添った教育を推進します。

- 家族以外の人との関わりや思いやりなど、集団生活で培う、心の教養の醸成、自己肯定感を高める教育に力を入れてほしい。（保育園・幼稚園保護者）
- 外国籍の子どもの言葉の壁に対する理解を望む。（小・中学校保護者）
- 外国籍の子どもへの学習サポートを強化してほしい。（としま未来ミーティング）
- 「特別支援教室」の拡充を要望したい。「特別支援教室」は一部の子どもたちの「居場所の一つ」、「学校へ行くモチベーションになる時間」になっている側面がある。しかし、必要としている子どもが増えているのに対し、受け皿が相対的に少ない。（小学校中学校PTA会長連絡会）

③いじめや不登校、困難な家庭環境などといった状況に置かれている子どもを全力でサポートし、誰一人として取り残すことなく、きめ細かい支援を実施します。

- 学校以外の居場所の選択肢を増やしてほしい。そのための居場所の利用料の補助をしてほしい。（区立小・中学校教員）
- 不登校の子どもを学校に戻すことを第一にするのではなく、心が少し回復した時に、同じような子や理解のあるメンターなどと過ごせるような居場所があると助かる。（小学校中学校PTA会長連絡会）
- リモート授業をもっと生かしてほしい。対面と比べると成果は得られないかもしれないが、コミュニケーションを取るだけでも不登校や病気等で学校に行けない子どもの支援になると思う。（としま未来ミーティング）
- 地域で生徒を見守り、支援したいと思う。情報共有をお願いしたい。（学校運営連絡協議会・学校運営協議会委員）

地域の魅力や本物の芸術・文化に触れる体験を通じ、地域を愛する心の豊かな子どもを育成

①企業や大学など、地域ネットワークを活用した、多様で特色のある教育の場を創出します。

- 学校教育の見直し、インクルーシブな社会に対応した教育、民間企業への協力斡旋などをしてほしい。（小・中学校保護者）
- 金融・IT・国際関連など、学校で教える範囲が広がっていると思います。その際に、教員のみではなく民間企業から講師を登用するなど、教える側も幅広く登用すれば良いかと思っています。（小学校中学校PTA会長連絡会）

②国際文化都市を強みとした多文化教育を推進し、共生社会の担い手となるグローバルな人材を育成します。

- 多様なルーツや文化を尊重しながら共存することができる子どもに育ってほしい（区立小・中学校教員）
- 子供達が外国人と触れ合える機会を作ってほしい（小・中学校保護者）
- 豊島区は外国人が多いイメージなので、その魅力を最大限に活かしてほしい。例えば英語教室や体験教室など役所主催でたくさんのことを行ってほしい（小・中学校保護者）
- 日本の文化や外国の文化を知り、体験できるような機会が欲しい（保育園・幼稚園保護者）

③芸術鑑賞や地域の方々との触れ合いを通して、豊かな感性と社会性の育成を強化します。

- 芸術や文化に力を入れている豊島区だからこそ子供達にアートに触れる機会をもっと増やしてほしい。また、子供達が外国人と触れ合える機会を作ってほしい（小・中学校保護者）
- 地域や社会の中の自分を意識できるような教育をしてほしい。現場で実物を見たり、たくさんの働く大人と関わる機会を作り、たくさん体験を取り入れてほしいです。（小・中学校保護者）
- 芸術鑑賞、区は芸術を見る機会がたくさんあるので、やってほしい（生徒会ミーティング）

④地域の歴史や文化について理解を深め、地域を育む心や、地域文化の伝承・発展の担い手を育成します。

- 自分が生まれ育った国や、地域に愛着を持ち、誇りが持てるような教育が必要だと思います。（学校運営連絡協議会・学校運営協議会委員）
- どんな状況においても負けず力強く生きる力を養い強い子どもになって欲しいと思う。豊島区、東京都、日本に生まれ育った事を誇りに思える大人へなってほしい。地域に根付き、やがては地域のリーダーとなってほしい。（学校運営連絡協議会・学校運営協議会委員）
- SDGsモデル都市だから、地域ごとの交流やイベントなど取り入れたらどうか（生徒会ミーティング）

子どもと教員を支え、学びと成長を実感できる、新しい時代に適応した学校づくりを推進

①学校・家庭・地域がつながり、地域全体で子どもを見守り・育てる教育活動を展開します。

- 子供達が安心して生活しやすい環境づくりを豊島区地域、学校の連携で作ってってもらいたい。（小・中学校保護者）
- 両親が子供と過ごす時間が以前よりずっと減っている中で、AIに頼るだけでなく地域全体で子供を育てていかねば、人とのコミュニケーションをどうとったらいいいのかかわからない人が多く育つのではないのでしょうか。不登校もそのような社会背景によるところもあるのではないのでしょうか。地域と学校と家庭とがコミュニティとなって子供たちを育てていける形を望みます。（学校運営連絡協議会・学校運営協議会委員）
- 顧問の先生の部活動の技術指導は限界だと思う。他の部活は外部から講師がきている。そのような事を増やして欲しい。（中学生生徒）

②計画的な学校改築・学校改修を推進し、学校間の学習環境の格差を是正します。

- 教育環境の整備をしてほしい。学校が物理的にも人員的にも余裕のある場所になってほしい。（小・中学校保護者）
- 校舎の建て替えを検討して頂きたいです。近隣校との設備の格差を感じます。（小学校中学校PTA会長連絡会）
- 自分の学校は、地域の80・90歳の方が使っていた校舎。なぜ建て替えないか聞いたら、建て替える間に行く場所がないとのこと。後輩たちのためにも、建て替えの予定がどうなっているか知りたい。（中学校生徒）

③学校図書館の学習情報センター化と学校図書館司書の充実を図り、子どもたちが主体的に学習できる環境を整備します。

- 図書室をもっと活用できるようにしてほしい、せっかく場所が整備されているのに、司書が在席する決まった曜日の決まった時間しか利用できないのはナンセンスだと思う。（小・中学校保護者）
- 子どもの主体性を尊重した学校環境の整備をしてほしい（特に子どもの権利に関する学びの支援）（小・中学校保護者）
- 家で勉強ができない。図書館も席が足りない。学校で自主勉強ができるようにしてほしい。（中学生生徒）

④教員が心のゆとりとやりがいを持って生き生きと働ける環境を創り、教育活動の質を向上させます。

- 教員の働き方改革を最優先でお願いします。多職種や地域との連携、民間事業者との協働など、もっともっと推進してください。（小・中学校保護者・区立小・中学校教員）
- 教員がしなくてもよいものは、スクール・サポート・スタッフ、ボランティアや地域の方が行えるようにシステムを整えてほしい。（小・中学校保護者）
- 年度の途中で休職される先生がいた場合に、代替の先生がおらず、他の先生にしわ寄せがいつてしまっている現状を何とかしてほしいです。休職される先生を責めるつもりはまったく無く、休むべきときに心おきなく休める環境が整備されるべきと考えます。（小学校中学校PTA会長連絡会）

教育大綱策定スケジュール

資料5

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育会議			●（教育大綱素案審議） 第1回 6/12	●（教育大綱素案決定） 第2回 7/4			●（教育大綱決定） 第3回 総合教育会議					（令和7年度重要施策審議） ●第4回 総合教育会議
意見交換会		●10年 との 意見 交換 会 長 5/17										
議会・パブリックコメント				●（素案・パブリック コメント等実施報告） 子ども文教委員会報告 7/12	●（7月下旬～8月下旬） パブリックコメント実施	●パブリックコメント 「結果公表」		●（教育大綱・パブリック コメント結果報告） 子ども文教委員会報告 11/26	●豊島区教育大綱公表			

豊島区教育施策に関する意識調査結果について

1. 調査の目的

令和6年度策定する「豊島区教育大綱」及び「豊島区教育振興基本計画（豊島区教育ビジョン）」の基礎資料として、区内幼稚園・保育園の園児の保護者・教員・保育士、区立小・中学校の児童生徒及び教員、教育関係者等の教育に関する意識・意向を把握するために実施した。

2. 調査の種類と対象

No.	調査対象	対象数	回収数	回収率
1	区内保育園（公立・私立）の5歳児保護者 区内幼稚園（公立・私立）の5歳児保護者	1,630	244	15.0%
2	区内保育園（公立・私立）保育士 区内幼稚園（公立・私立）の幼稚園教員	1,850	79	4.3%
3・4	区立小学校保護者（1年生・4年生・5年生の保護者） 区立中学校保護者（1年生・2年生の保護者）	6,468	1,073	16.6%
5	学校運営連絡協議会・学校運営協議会委員 （区立小・中学校、幼稚園）	323	164	50.8%
6	区立小・中学校の教員	750	324	43.2%
7	区立小学校4～5年生の児童	3,031	2,268	74.8%
8	区立中学校1～2年生の生徒	1,866	1,057	56.6%

3. 調査の方法

- ・各対象者に紙面またはデータにより調査依頼文書をお渡し、回答方法はタブレット、パソコン、スマートフォン等WEB（Google Workspace内の「フォーム」を活用）により回答とした。
- ・ただし、学校運営連絡協議会、学校運営協議会委員には紙ベースでも回答可能とした。

4. 調査の項目

- ・通園先の状況について
- ・小学校入学時のサポートについて
- ・小学校・中学校の隣接校選択制について
- ・子どもに身につけてほしいこと
- ・教育について学校や教育委員会、区が重点的に取組むべきこと
- ・園と地域との連携について
- ・行政・教育委員会のサポートについて
- ・学校生活について
- ・不登校児について
- ・放課後の主な過ごし方
- ・部活動について 等

5. 調査結果の抜粋

豊島区教育大綱（素案）における4つの方針及び具体的な取組ごとに調査結果を整理した。

< 豊島区教育大綱（素案） >

目指す都市像

未来を切り拓く 笑顔で元気な
“としまっ子” が育つまち

目指す教育像

学校、家庭、地域、関係機関等が連携して、すべての子どもの学びを支え、「元気でたくましい子ども」「体験を通じて心の豊かな子ども」「地域を愛する子ども」を育てます。

方針

「元気でたくましい子ども」「体験を通じて心の豊かな子ども」「地域を愛する子ども」を育てるため、次の4つの方針に基づき具体的な取組を推進していきます。

No.	方針	具体的な取組
1	幼児期からの切れ目のない教育を推進し、未来を担う確かな学力と健康で活力に満ちた子どもの育成	①生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期における就学前教育を充実させます。 ②デジタル機器を最大限に活用した先進的な教育を推進し、子どもたちの学習意欲と知識・能力を高めていきます。 ③自然やスポーツなど多様な体験の場を創設し、生涯を通じて健康でたくましく生きていくための基盤をつくります。
2	多様性を認め、誰もが自己肯定感や自己有用感を感じられる教育の推進	①子どもたちの声に耳を傾け、しっかりと受け止め、子どもの学ぶ権利を保障します。 ②障害の有無や国籍等にかかわらず、個々の人権を大切に、一人ひとりの子どもに寄り添った教育を推進します。 ③いじめや不登校、困難な家庭環境などといった状況に置かれている子どもを全力でサポートし、誰一人として取り残すことなく、きめ細かい支援を実施します。
3	地域の魅力や本物の芸術・文化に触れる体験を通じ、地域を愛する心の豊かな子どもを育成	①企業や大学など、地域ネットワークを活用した、多様で特色のある教育の場を創出します。 ②国際交流都市を強みとした多文化教育を推進し、共生社会の担い手となるグローバルな人材を育成します。 ③芸術鑑賞や地域の方々との触れ合いを通して、豊かな感性と社会性の育成を強化します。 ④地域の歴史や文化について理解を深め、地域を育む心や、地域文化の伝承・発展の担い手を育成します。
4	子どもと教員を支え、学びと成長を実感できる、新しい時代に適応した学校づくりを推進	①学校・家庭・地域がつながり、地域全体で子どもを見守り・育てる教育活動を展開します。 ②計画的な学校改築・学校改修を推進し、学校間の学習環境の格差を是正します。 ③学校図書館の学習情報センター化と学校図書館司書の充実を図り、子どもたちが主体的に学習できる環境を整備します。 ④教員が心のゆとりとやりがいを持って生き生きと働ける環境を創り、教育活動の質を向上させます。

方針 1 幼児期からの切れ目のない教育を推進し、未来を担う確かな学力と健康で活力に満ちた子どもの育成

具体的な取組① 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期における就学前教育を充実させます。

小学校入学にあたってのサポートについて



- 保育園・幼稚園保護者の 76.6%が就学前のサポートがあると感じている。
- 保育士・幼稚園教員は、約 4 割が幼・保・小との連携に行政・教育委員会のサポートが必要と感じる一方、6 割がわからないと答えている。
- 保育士・幼稚園教員が行政・教育委員会に望むサポートは、他園・他校との交流に関する内容が多くなっている。

小学校の入学にあたって、通園先はサポートしてくれていると思いますか。【保育園・幼稚園保護者調査】

問 8	調査数	思う	思わない
①保育園・幼稚園保護者	244 100.0	187 76.6	57 23.4

幼稚園・保育園・小学校との連携について行政・教育委員会のサポートが必要だと思いますか。

【保育士・幼稚園教員調査】

問 9	調査数	必要	必要ではない	分からない
②保育士・幼稚園教員	79 100.0	31 39.2	- -	48 60.8

行政・教育委員会へのサポートの具体的な要望（自由意見）【保育士・幼稚園教員調査】

意見内容	件数
他園・他校との交流に関するサポート	12 件
子どもたちへの継続したサポート・引継ぎ	5 件
校庭の利用サポート	2 件
その他	5 件
合計	23 件

通園先の小学校との交流の有無について

■保育士・幼稚園教員、小学校・中学校教員は交流しているという回答が8割前後である一方、保育園・幼稚園保護者の3割強は交流しているとは思わないと感じている。

通園先は小学校と交流していると思いますか。【保育園・幼稚園保護者調査】

問 9	調査数	思 う	思わない
①保育園・幼稚園保護者	244 100.0	165 67.6	79 32.4

近隣の保育所、幼稚園と連携・交流を実施していますか。【保育士・幼稚園教員調査】

問 7	調査数	している	していない	分からない
②保育士・幼稚園教員	79 100.0	65 82.3	7 8.9	7 8.9

学区内の保育園・幼稚園・認定こども園と交流していると思いますか。【小学校・中学校教員調査】

問 9	調査数	思 う	思わない
⑥小学校・中学校教員	244 100.0	195 79.9	49 20.1

具体的な取組② デジタル機器を最大限に活用した先進的な教育を推進し、子どもたちの学習意欲と知識・能力を高めていきます。

豊島区の教育行政に関する要望

■小学校・中学校保護者に区の教育行政への要望は、「ＩＣＴの活用やリモート授業の導入」に関する意見が第２位となっている。

豊島区の教育行政に関する要望（自由意見・上位５位を抜粋）【小学校・中学校保護者調査】

意見内容	件数
授業の数・質への懸念について	95 件
ＩＣＴの活用やリモート授業の導入について	43 件
教員の待遇改善について	38 件
授業日時や行事について	35 件
放課後等の居場所について	26 件

具体的な取組③ 自然やスポーツなど多様な体験の場を創設し、生涯を通じて健康でたくましく生きていくための基盤をつくります。

子どもに経験させたいこと



■保育園・幼稚園保護者及び小学校・中学校保護者に子どもに経験させたいことを聞いたところ、「自然・アウトドア体験」がともに最も多く第1位、「運動・スポーツ」は保・幼保護者は第2位、小・中保護者は第3位となっている。

お子様に経験させたいこと、やらせたいこと（自由意見・上位5位を抜粋）【保育園・幼稚園保護者調査】

意見内容	件数
自然・アウトドア体験	32 件
運動・スポーツ	12 件
職業・社会科体験	11 件
伝統文化・芸術	11 件
食事・食育	11 件

お子様に経験させたいこと、やらせたいこと（自由意見・上位5位を抜粋）【小学校・中学校保護者調査】

意見内容	件数
自然・アウトドア体験	130 件
職業・社会科体験	95 件
運動・スポーツ	72 件
伝統文化・芸術	69 件
外国異文化・交流旅行(留学含む)	67 件

方針2 多様性を認め、誰もが自己肯定感や自己有用感を感じられる教育の推進

具体的な取組① 子どもたちの声に耳を傾け、しっかりと受け止め、子どもの学ぶ権利を保障します。

子どもに身に付けてほしいこと

■子どもに身に付けてほしいことは、「思いやりがある」という回答が学校関係者及び小学校・中学校教員で第1位、保育園・幼稚園保護者及び小学校・中学校保護者では第2位となっている。

子どもに身に付けてほしいことは何ですか。【学校運営協議会・学校運営連絡協議会調査】【保育園・幼稚園保護者調査】【小学校・中学校保護者調査】【小学校・中学校教員調査】

	調査数	思いやりがある	協調性がある	確かな学力がある	他人を認められる	心身がたくましい	我慢強さがある	自立心がある	主体的に学び、考える力が主である	創造性が豊かである	適切な判断力がある	分らない	その他
①保育園・幼稚園保護者	244 100.0	129 52.9	48 19.7	25 10.2	57 23.4	101 41.4	24 9.8	49 20.1	164 67.2	51 20.9	56 23.0	1 0.4	1 0.4
③④小学校・中学校保護者	1073 100.0	627 58.4	200 18.6	186 17.3	208 19.4	365 34.0	96 8.9	228 21.2	750 69.9	205 19.1	277 25.8	1 0.1	11 1.0
⑤学校運営協議会・学校運営連絡協議会	164 100.0	115 70.1	43 26.2	24 14.6	51 31.1	28 17.1	11 6.7	20 12.2	108 65.9	41 25.0	36 22.0	1 0.6	2 1.2
⑥小学校・中学校教員	324 100.0	216 66.7	105 32.4	53 16.4	117 36.1	58 17.9	42 13.0	57 17.6	173 53.4	36 11.1	86 26.5	-	6 1.9

どんな子どもに育ててほしいか/育てたいか

■どんな子どもに育ててほしいかを保・幼・小・中保護者、また育てたいかを学校関係者、小・中教員に聞いたところ、「思いやりのある子」がそれぞれ第1位、第2位と上位にあげられ、「自己肯定感のある子」は学校関係者で第2位、それ以外で第5位、第6位となっている。

どんな子どもに育ててほしいと思うか（自由意見・項目を抜粋）

【保育園・幼稚園保護者調査】

思いやりのある子 第1位（46件） | 自己肯定感のある子 第5位（同率）（13件）

【小学校・中学校保護者調査】

思いやりのある子 第1位（232件） | 自己肯定感のある子 第6位（48件）

どんな子どもに育てたいと思うか（自由意見・項目を抜粋）

【学校運営協議会・学校運営連絡協議会調査】

思いやりのある子 第1位（60件） | 自己肯定感のある子 第2位（46件）

【小学校・中学校教員調査】

思いやりのある子 第2位（86件） | 自己肯定感のある子 第6位（24件）

悩みごとの相談先

■小学生児童及び中学生生徒の悩みごとの相談先は、ともに「家族」が第1位、「友だち」が第2位となっており、相談窓口の利用は少ない状況にある。また、「相談する人はいない」人が約1割いる。

あなたは、悩みを誰に相談しますか。【小学生児童】【中学生生徒】

問 7	調査数	担任の先生	担任以外の先生	家族	友だち	アシス としま	なやミ ミフ リーダー イアル	としま 子どもの 権利 相談室	その他	相談する人はいない
⑦小学生児童	2268 100.0	583 25.7	151 6.7	1521 67.1	1093 48.2	53 2.3	31 1.4	40 1.8	134 5.9	316 13.9
⑧中学生生徒	1057 100.0	218 20.6	87 8.2	641 60.6	622 58.8	20 1.9	8 0.8	7 0.7	49 4.6	123 11.6

具体的な取組② 障害の有無や国籍等にかかわらず、個々の人権を大切にし、一人ひとりの子どもに寄り添った教育を推進します。

特別支援教育について

■小学校・中学校教員の自由意見では、特別支援学級のあり方や運営課題、インクルーシブ教育の推進についての意見が複数ある。

学校教育、学校運営、その他要望・意見・困りごと（自由意見・主な意見を抜粋）

◎特別支援教育について 第4位（21件）

- ・特別支援学級のあり方について、再度見直しをお願いしたい。
- ・インクルーシブ教育を目指すのであれば、クラスの児童数を25人未満にする必要がある。支援が必要な児童の特性がかぶることもあり（自分は大きな音を立てるが、他者が出す音の刺激には非常に弱い等）、現時点で通常のクラス編成では不可能な状態である。または、支援が必要な児童や、固定級判定が出ている児童への支援員の配置を手厚くすべき。
- ・特別支援教室で、巡回指導教員がギリギリ。保護者、児童から特別支援教室通級の要望があっても、枠がなくて断らざるを得なかったり、個別でじっくり週2時間確保したい子を1時間にしたり、小集団で複数人をまとめて指導している。
- ・特別支援学級には、「障害」という言葉の意味を知らなかったり、受け入れられなかったりする生徒も在籍しているため、少なくとも学校現場では「障害・障がい」といった表現ではなく、「多様」という表現を広めてほしい。

具体的な取組③ いじめや不登校、困難な家庭環境などといった状況に置かれている子どもを全力でサポートし、誰一人として取り残すことなく、きめ細かい支援を実施します。

不登校児の有無



■しばらく学校をお休みしている友人の有無を聞いたところ、小学生児童では 41.3%、中学生生徒では 67.8%が「いる」と回答している。

あなたの学校やクラスにしばらく学校をお休みしている友人はいますか。【小学生児童】【中学生生徒】

問 9	調査数	いる	いない	分からない
⑦小学生児童	2268 100.0	937 41.3	755 33.3	576 25.4
⑧中学生生徒	1057 100.0	717 67.8	164 15.5	176 16.7

不登校児への心配/心配に思う理由



■小学生児童及び中学生生徒にしばらく学校を休んでいる友人への考えを聞いたところ、「心配している」人は小学生で約7割、中学生で6割強となっている。

■小・中学校保護者及び学校関係者に不登校児等への考えを聞いたところ、「心配している」人はともに9割を占めている。

■また、心配に思う理由は、小・中学校保護者及び学校関係者ともに「人間関係が希薄になる」が第1位、「心の健康が保たれない」が第2位、「社会性が身に付かない」が第3位となっている。

そのしばらく学校をお休みしている友人についてどのように考えているか教えてください。

【小学生児童】【中学生生徒】

問10	調査数	心配している	心配していない
⑦小学生児童	937 100.0	649 69.3	288 30.7
⑧中学生生徒	717 100.0	451 62.9	266 37.1

不登校や登校することが嫌になっている子どもについてどのようにお考えですか。

【小学校・中学校保護者調査】【学校運営協議会・学校運営連絡協議会調査】

問11・問 8	調査数	心配している	心配していない
③④小学校・中学校保護者	1073 100.0	972 90.6	101 9.4
⑤学校運営協議会・ 学校運営連絡協議会	164 100.0	154 93.9	10 6.1

心配だと思う理由は何ですか。【小学校・中学校保護者調査】【学校運営協議会・学校運営連絡協議会調査】

問12・問9	調査数	学習が遅れる	健康・体力が衰える	生活習慣が乱れる	人間関係が希薄になる	社会性が身に付かない	進路・進学に影響がある	家族の生活に影響がでる	心の健康が保たれない	その他
③④小学校・中学校保護者	972 100.0	452 46.5	319 32.8	387 39.8	583 60.0	473 48.7	310 31.9	317 32.6	569 58.5	53 5.5
⑤学校運営協議会・ 学校運営連絡協議会	154 100.0	52 33.8	39 25.3	72 46.8	96 62.3	82 53.2	26 16.9	48 31.2	87 56.5	14 9.1

不登校児への対策に望むこと/対策に必要なこと



■不登校児への対策に望むことを小・中保護者及び学校関係者、また対策として必要だと思うことを小・中教員に聞いたところ、小・中保護者は「子どもが安心・楽しいと感じる学校づくりをしてほしい」「学校の外に不登校等の子どものための居場所を設置してほしい」という安心して過ごせる環境整備に関する回答が特に多く、学校関係者は「子どもがいつでも相談できる人や窓口を増やしてほしい」という回答が第1位、小・中教員は「子どもを支援する人を配置してほしい」という回答が第1位と、人手不足や窓口の充実に関する回答が多くなっている。

不登校や登校することが嫌になっている子どもについてどのようにお考えですか。

【小学校・中学校保護者調査】【学校運営協議会・学校運営連絡協議会調査】【小学校・中学校教員調査】

問13・問10・問13	調査数	子どもが安心・楽しいと感じる学校づくりをしてほしい	子どもがいつでも相談できる人や窓口を増やしてほしい	子どもを支援する人を配置してほしい	学校の先生を支援する人を配置してほしい	保護者を支援する人を配置してほしい	学校の中に不登校等の子どものための居場所を設置してほしい	学校の外に不登校等の子どものための居場所を設置してほしい	その他
③④小学校・中学校保護者	1073 100.0	454 42.3	396 36.9	378 35.2	361 33.6	272 25.3	412 38.4	453 42.2	54 5.0
⑤学校運営協議会・ 学校運営連絡協議会	164 100.0	66 40.2	75 45.7	66 40.2	65 39.6	45 27.4	47 28.7	60 36.6	11 6.7
⑥小学校・中学校教員	324 100.0	101 31.2	91 28.1	224 69.1	151 46.6	141 43.5	107 33.0	69 21.3	8 2.5

方針3 地域の魅力や本物の芸術・文化に触れる体験を通じ、地域を愛する心の豊かな子どもを育成

具体的な取組① 企業や大学など、地域ネットワークを活用した、多様で特色のある教育の場を創出します。

該当設問なし

具体的な取組② 国際交流都市を強みとした多文化教育を推進し、共生社会の担い手となるグローバルな人材を育成します。

子どもに経験させたいこと



■小学校・中学校保護者に子どもに経験させたいことを聞いたところ、「外国異文化・交流旅行(留学含む)」は第5位となっている。

お子様に経験させたいこと、やらせたいこと（自由意見・上位5位を抜粋）【小学校・中学校保護者調査】

意見内容	件数
自然・アウトドア体験	130 件
職業・社会科体験	95 件
運動・スポーツ	72 件
伝統文化・芸術	69 件
外国異文化・交流旅行(留学含む)	67 件

具体的な取組③ 芸術鑑賞や地域の方々との触れ合いを通して、豊かな感性と社会性の育成を強化します。

子どもに経験させたいこと



■保育園・幼稚園保護者及び小学校・中学校保護者に子どもに経験させたいことを聞いたところ、「伝統文化・芸術」がともに第4位となっている。

お子様に経験させたいこと、やらせたいこと（自由意見・上位5位を抜粋）【保育園・幼稚園保護者調査】

意見内容	件数
自然・アウトドア体験	32 件
運動・スポーツ	12 件
職業・社会科体験	11 件
伝統文化・芸術	11 件
食事・食育	11 件

お子様に経験させたいこと、やらせたいこと（自由意見・上位5位を抜粋）【小学校・中学校保護者調査】

意見内容	件数
自然・アウトドア体験	130 件
職業・社会科体験	95 件
運動・スポーツ	72 件
伝統文化・芸術	69 件
外国異文化・交流旅行(留学含む)	67 件

具体的な取組④ 地域の歴史や文化について理解を深め、地域を育む心や、地域文化の伝承・発展の担い手を育成します。

該当設問なし

方針4 子どもと教員を支え、学びと成長を実感できる、新しい時代に適応した学校づくりを推進

具体的な取組① 学校・家庭・地域がつながり、地域全体で子どもを見守り・育てる教育活動を展開します。

地域に求める園へのサポート

■保育士・幼稚園教員調査が地域に求めるサポートは、地域交流や巡回支援に関する内容が多くなっている。

園に対して、地域の方にどのようなサポートを求めますか。【保育士・幼稚園教員調査】

意見内容	件数
地域交流・巡回支援	12 件
保育・子育て支援	7 件
災害・犯罪対応への協力	3 件
自主性の尊重	3 件
その他	3 件
合計	26 件

具体的な取組② 計画的な学校改築・学校改修を推進し、学校間の学習環境の格差を是正します。

区が重点的に取組むべきこと

■小学校・中学校教員は、質の高い教育環境の整備(学校改築含む)を望む回答が第1位と特に多くなっている。

教育について学校や教育委員会、区役所にどのようなことに重点的に取組んでほしいと思いますか。

【保育園・幼稚園保護者調査】【小学校・中学校保護者調査】【学校運営協議会・学校運営連絡協議会調査】
【小学校・中学校教員調査】

	調査数	基礎・基本的な知識・技能を育む教育	他者を認め、思いやる豊かな心を育む教育	健康で安全に生活する力を育む教育	小学校への入学を見据えた幼児教育の充実	障害のある子どもに対する支援	子どもたちの放課後の居場所づくりと充実	不登校の未然防止・早期対応、復帰支援	外国籍児童・生徒への支援	質の高い教育環境の整備(学校改築・ICT環境・学校働き方改革)	家庭・地域・学校の連携	その他
①保育園・幼稚園保護者	244 100.0	92 37.7	138 56.6	94 38.5	45 18.4	27 11.1	92 37.7	38 15.6	11 4.5	76 31.1	38 15.6	18 7.4
③④小学校・中学校保護者	1073 100.0	585 54.5	644 60.0	454 42.3	35 3.3	127 11.8	314 29.3	205 19.1	44 4.1	367 34.2	148 13.8	64 6.0
⑤学校運営協議会・学校運営連絡協議会	164 100.0	67 40.9	126 76.8	65 39.6	13 7.9	24 14.6	40 24.4	38 23.2	21 12.8	31 18.9	44 26.8	5 3.0
⑥小学校・中学校教員	324 100.0	85 26.2	145 44.8	60 18.5	12 3.7	101 31.2	39 12.0	80 24.7	76 23.5	184 56.8	50 15.4	32 9.9

具体的な取組③ 学校図書館の学習情報センター化と学校図書館司書の充実を図り、子どもたちが主体的に学習できる環境を整備します。

該当設問なし

具体的な取組④ 教員が心のゆとりとやりがいを持って生き生きと働ける環境を創り、教育活動の質を向上させます。

心身ともに健康でやりがいを持って働くために改善していくべきこと



■保育士・幼稚園教員調査及び小学校・中学校教員調査に健康でやりがいを持って働くために改善すべきことを聞いたところ、順位の変動はありますが、ともに「人手不足の解消」「勤務時間・休日のとりにくさ」「業務量について」が上位3位を占めている。

あなたが心身ともに健康でやりがいを持って働くために、どのようなことを改善していくべきだとお考えですか。（自由意見・上位5位を抜粋）【保育士・幼稚園教員調査】

意見内容	件数
人手不足の解消について	19 件
長時間勤務・休日のとりにくさについて	18 件
事務量・業務量について	12 件
給与・処遇の改善について	12 件
職員の能力・育成について	8 件

あなたが心身ともに健康でやりがいを持って働くために、どのようなことを改善していくべきだとお考えですか。（自由意見・上位5位を抜粋）【小学校・中学校教員調査】

意見内容	件数
業務量・仕事内容の見直しについて	134 件
人手不足の解消について	86 件
長時間勤務・休日のとりにくさについて	60 件
職員間の連携について	21 件
給与・処遇の改善について	21 件

豊島区の教育行政に関する要望

▼

■小学校・中学校保護者に区の教育行政への要望は、「教員の待遇改善」に関する意見が第3位となっている。

豊島区の教育行政に関する要望（自由意見・上位5位を抜粋）【小学校・中学校保護者調査】

意見内容	件数
授業の数・質への懸念について	95 件
I C Tの活用やリモート授業の導入について	43 件
教員の待遇改善について	38 件
授業日時や行事について	35 件
放課後等の居場所について	26 件

人員配置や業務の見直しについて

▼

■小学校・中学校教員の自由意見では、人員配置や業務の見直しについての意見が特に多くなっている。

学校教育、学校運営、その他要望・意見・困りごと（自由意見・主な意見を抜粋）

◎教職員の数・配置について 第1位（60件）

- ・働き方改革は、教員定数が増えれば問題の多くが解消される。早急に人員の増員をしていただきたい。
- ・現在、どの教員も、まったく余裕がない状態で勤務している。有能な人材が増えるよう、早急な対策をお願いしたい。
- ・働き方改革を学校ごとに委ねられても効果は薄い。区としてもっと積極的に一律に切り込んで改革をしてほしいし、保護者への説明も区の方でしっかり行ってほしい。

◎業務見直しについて 第2位（52件）

- ・教師も子どももやるが多すぎて余白が少ないように感じる。内容を精査し、整理する必要がある。
- ・業務内容が不明確で何をどこまですればいいのかわからない。年々保護者の方の要望も複雑になり、何を求めているのかもわかりにくく苦勞している。
- ・会議等の精選をして、教員が自分のために自由に使える時間を確保したい。